

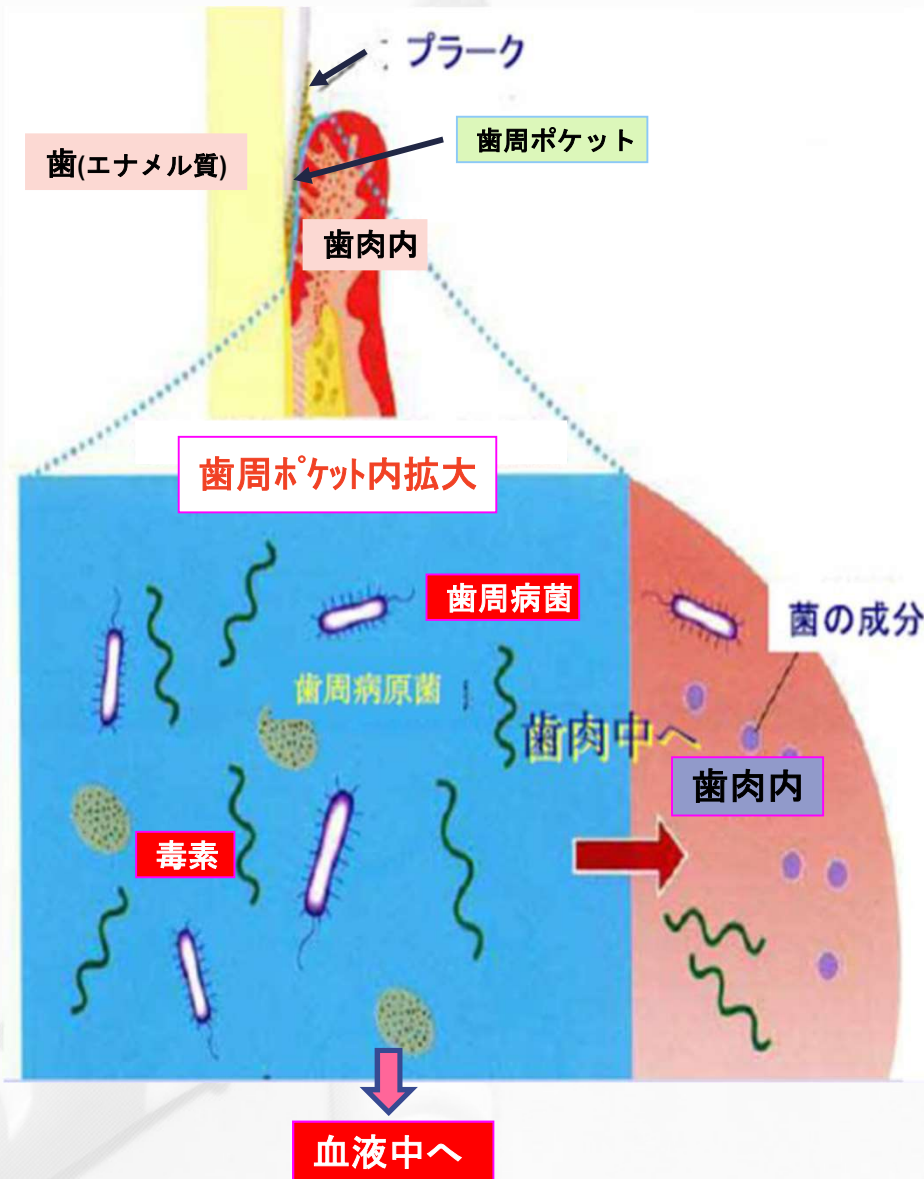
「歯周病リスク検査について」

～歯周病は世界で感染者が最も多い感染症です～



メスプ細胞検査研究所

歯周病の原因は・その特徴は？



歯周病の原因は細菌です！

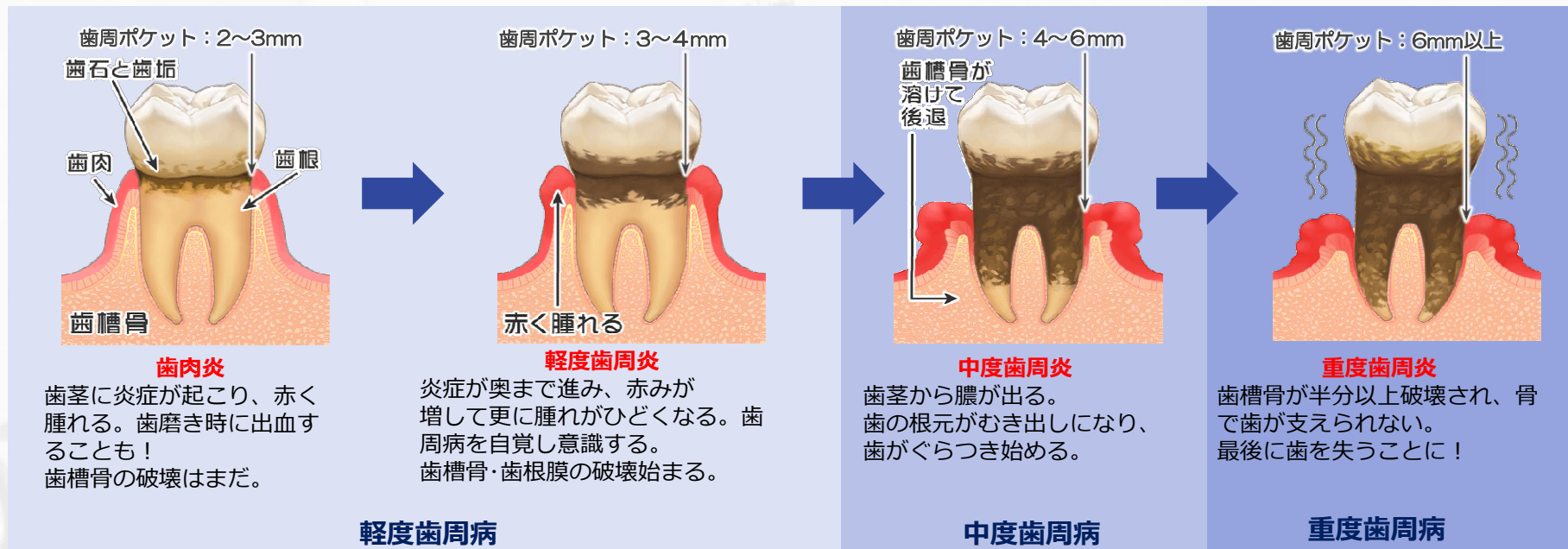
- ◆ 口腔内には、約700種類、およそ100億個の細菌が存在します。その内、歯周病の原因は歯周病菌です。現在、歯周病菌は数10種類以上が確認されています。
- ◆ 歯周病菌は嫌気性菌が多く、歯と歯茎の境目など空気の少ないところで繁殖し、歯周ポケットを形成します
- ◆ 歯周病菌、その成分及び歯周病菌が産生する毒素等の有害物質が、主に歯周組織に炎症・悪影響を及ぼし歯周病を引き起します。
- ◆ 主な歯周病菌
ポルフィロモナス・ジンジバリス
トリポネーマ・デンティコーラ
タンネレラ・フォーサイシア

歯周病ってどんな病気？



- ◆ 歯周病とは、**歯茎や歯を支えている骨などの組織に炎症が起こる病気**です。
- ◆ 歯周病の**主な原因は、歯と歯茎の境目にたまったプラーク（歯垢）**です。
- ◆ 炎症が起こるのは、プラーク中の歯周病菌及びそれが出す毒素によるものです。それにより歯を支えている組織は徐々に破壊され、最後には歯が抜け落ちてしまいます。**歯を失う原因として最も多いのが歯周病**であり、**約80%の成人が歯周病**であるといわれています。
- ◆ 歯周病も生活習慣病と同じで、**自覚症状（慢性炎症）がないまま進行し、気づいた時には重症になっている例が少なくありません。**

《歯周病の進行》



歯周病は国民病



- ◆ 歯周病は世界一感染者の多い感染症で、日本でも30歳以上の約2/3以上が罹患しています（ギネスブックに認定）。
- ◆ 歯周病は決して中高年や高齢者の病気ではなく、若者にも増加しています。
- ◆ 歯周ポケット4mm以上の保有者の割合は、高齢者になるほど増加し、50歳以上で過半数を占めています。
- ◆ 歯肉出血がある人の割合は、どの年齢階層も約40%と一定の値です。
- ◆ 歯周病は「沈黙の病気」と呼ばれ、自覚症状に乏しい病気です。そのため、歯茎が痛い・歯がグラグラする、といった自覚症状を感じてから治療を受けても手遅れになることが珍しくありません。



歯周病と全身疾患の関係



歯周病が標的臓器に及ぼすメカニズム

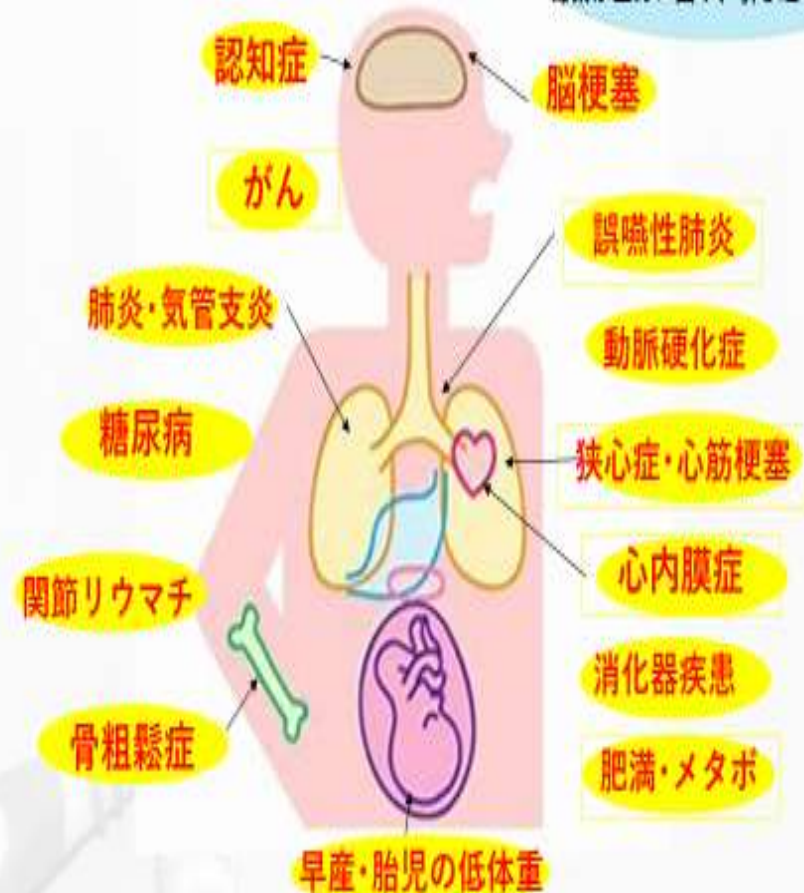
歯周病が原因で引き起す疾患！



歯周病が進行すると細菌や毒素が、血管を介して全身に広がり（菌血症）、持続的な慢性炎症を起こし、新たな病気の引き金になり、重篤な病状等を引き起こします。

エッ！歯周病が全身疾の原因？

歯肉の血管から歯周病菌とその毒素が全身に回り、引き起します。



歯周病は完治しにくい、出血で歯周病菌が増殖？



歯周病は完治しにくい！

- ◆ 口腔内に存在する細菌は一度住み着くと生涯いなくなることはないと言われています。そのため、**口腔内の歯周病菌が無くならないかぎり、何度でも再発します。**
- ◆ しかし、**量の増減は可能**なため、いかに悪い細菌の量を減らしていくことができるかが重要になります。
- ◆ 歯周病を悪化させないためには**プラーク**（バイオフィルム）を**コントロール**することが**重要**です。



出血で歯周病菌が増殖？

- ◆ 歯磨きをしている時や、何もしていない時でも歯茎から血が出ることはありませんか？
- ◆ **歯周病菌は赤血球ヘモグロビンの“ヘミン鉄”が大好き**です。**鉄分を得て歯周病菌は爆発的に増殖**します。
- ◆ 出血を放っておくと、歯周病が悪化してしまいます。歯茎からの出血は要注意なのです！！

歯周病菌には
赤血球ヘモグロビンの
ヘミン鉄が必須栄養素

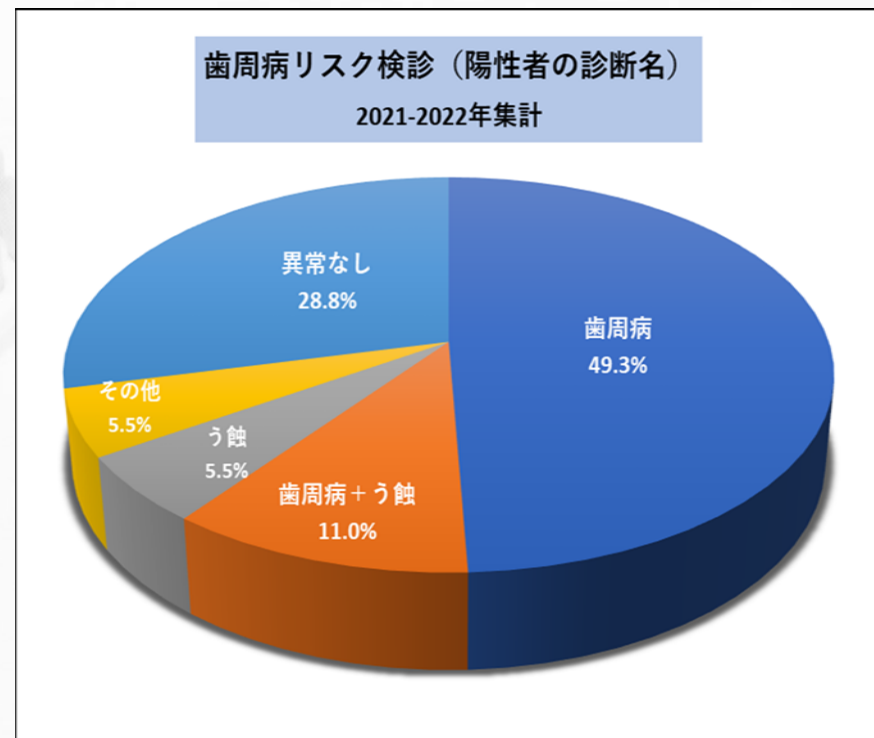
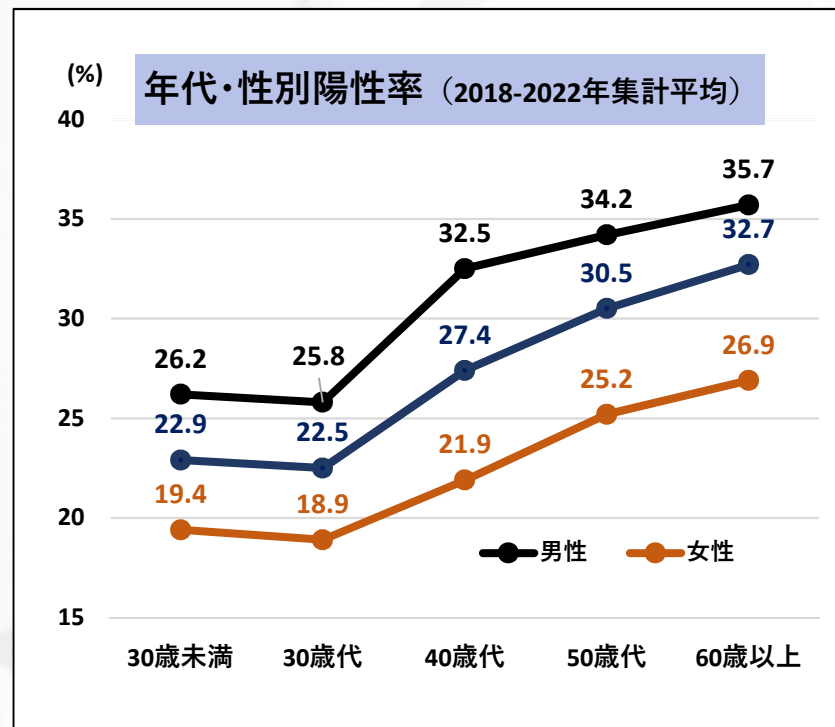
ヘミン鉄がないと
増殖困難・低病原性

歯周病は
起こせない

歯周病リスク検査の結果統計 (陽性率・陽性者の診断)



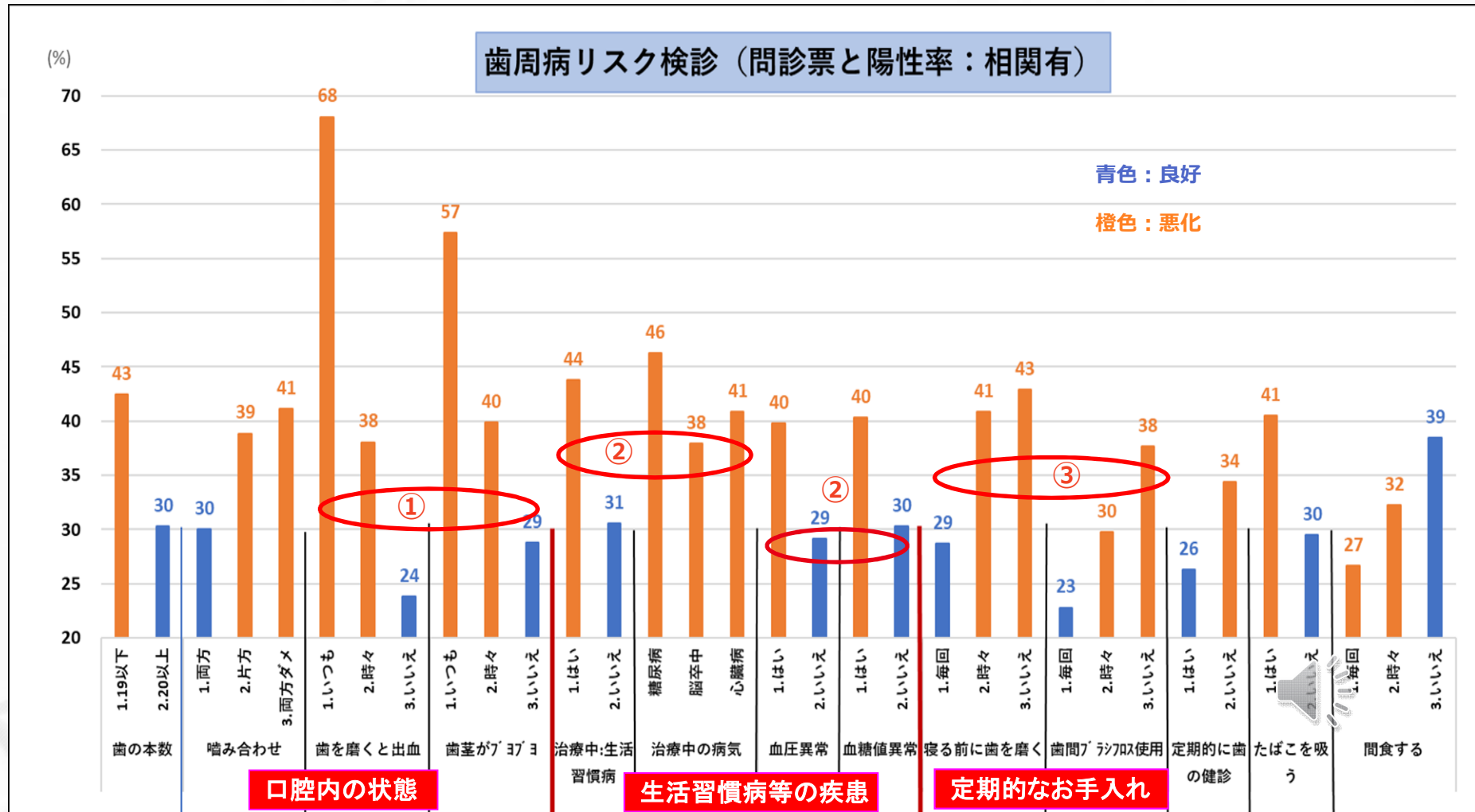
- ◆ **陽性率**：男性約33%、女性約23%、**平均約29%**です。また、高齢になるほど高くなります。
- ◆ **陽性者の診断名**：陽性者のアンケートのまとめです。**歯科で受診した約70%が歯の疾患あり**と診断されました。内訳は**歯周病約50%**、**歯周病+う蝕約11%**、**う蝕約6%**、**その他約5%**でした。
- ◆ **結果が陽性の方は、必ず歯科医を受診ください。**



問診票項目と陽性率の関係



- ◆ ①口腔内の状態：歯を磨くと出血する、いつも歯茎がブヨブヨという人は特に陽性率が高い。
- ◆ ②生活習慣病等の疾患：治療中の病気（糖尿病・脳卒中・心臓病）がある人、高血圧、血糖値異常の人も陽性率が高い。
- ◆ ③定期的なお手入れ：寝る前に歯を磨かない、歯間ブラシやフロスを使わないという人も陽性率が高い。



歯周病リスク検査とは？



唾液中のヘモグロビンを測定し、歯周病のリスクをA・B・Cで判定します。

- ◆ 歯周病は初期の段階では確認できないことが多いです。
- ◆ 早期発見のために、唾液中のヘモグロビン（Hb）を調べます。Hbは歯周病による歯肉からの出血の指標となります。
- ◆ 肉眼では見えないわずかな出血＝**潜血**を検出することができます。
- ◆ 唾液検査を行うことにより、**歯周病を早期に発見することが可能**になります。



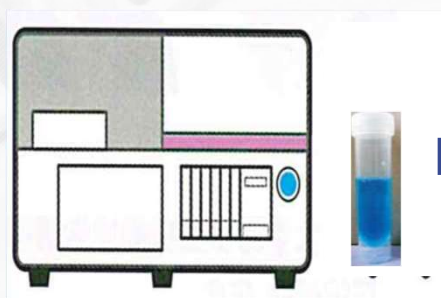
検査の流れ（自宅で簡単にできる検査です！）

唾液を採取



ガムを噛んで唾液を採取し、検査機関に郵送します。

検査機関で測定



検査機関でヘモグロビンを測定します。

検査結果を送付

判定	A	B	C
	異常なし	要指導	要医療
ヘモグロビン ($\mu\text{g/mL}$)	0 ~ 1.99	2.00 ~ 4.19	4.20 ~

具体的な数字で結果を送付します。

陽性者の方へ 受診勧奨



結果はA・B・Cで判定します。

判定	A：異常なし	B：要指導	C：要医療	単位
Hb測定値	0～1.99	2.00～4.19	4.20～	μg/mL

結果が陽性であった方へ

- ◆ **B(要指導)の方**：初期歯周病に罹患・発病の可能性がありますので、歯科受診をされ指導を受けられることをお勧めします。出血・痛み等がある場合は歯科受診をお勧めします。
- ◆ **C(要医療)の方**：歯周病に罹患している可能性が高く、早期の歯科受診をお勧めします。
- ◆ 歯周病は症状がなく静かに進行します。早期発見のため、定期的な歯科検診をお勧めします。



このような方はぜひご受診ください。



気になる方はご受診ください。

- ◆ 歯科医受診が遠のいている方。
- ◆ 歯周ポケット測定など、歯周病検査を受けていない方。
- ◆ 自分の口腔内の状態を客観的に数字で評価したい方。
- ◆ ずっと、自分の歯で好きなものを食べたい方。
- ◆ 糖尿病や生活習慣病にかかっている方やリスクの高い方。
- ◆ 自覚症状はないが、何となくお口が気になる方。

《歯周病チェックシート》

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 歯茎の色が赤い | <input type="checkbox"/> 歯と歯の間にすき間ができている |
| <input type="checkbox"/> 歯磨きの最中に出血しやすい | <input type="checkbox"/> 歯茎から膿がでる |
| <input type="checkbox"/> 冷たいものが歯にしみる | <input type="checkbox"/> 不規則な生活を送っている |
| <input type="checkbox"/> 起床時に口のなかがネバネバする | <input type="checkbox"/> 口臭がある |
| <input type="checkbox"/> 歯茎が腫れることがある | <input type="checkbox"/> 歯がグラグラする |
| <input type="checkbox"/> 歯茎が下がって歯が長くなってきた気がする | |

